

「今すぐ申請できる助成金」

従業員に歯科検診を受けさせ国から最大72万円もらう方法！

中小企業にとって、一般的な資金調達は、日本政策金融公庫や金融機関（銀行）からの借入れかと思えます。しかし、資金調達と併せて、まだまだ知られていないのが、借入れと異なり返済が不要な「補助金・助成金」を活用する方法です。特に昨年からのコロナの影響により、給付金などを含めた補助金・助成金の注目度は日々高まっています。また、国の2021年度予算編成に向けた各省庁の概算要求の総額は15兆円超で過去最大となっています。助成金や補助金は、年間約7,000種類以上発表されています。助成金は、毎年4月の新年度で改訂があり、補助金は1年間を通じて様々な時期で公募されています。

一口に、助成金・補助金といっても創業・起業などで活用できるものもあれば、雇用（採用）、社員研修、研究開発、新規事業向けの設備投資、コロナ対策で活用できるものなど、その用途は多種多様です。

歯科検診を受けさせて最大72万円もらうとは？

そこで多くの助成金・補助金がある中で、今回案内する助成金は入門の入門で、誰でも簡単に取り組める助成金となっています。

人気の助成金一覧

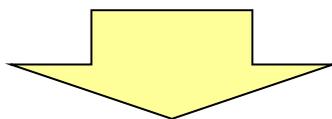
①教育休暇等制度導入（人材開発支援助成金）	30万円
②雇用管理制度助成金（人材確保等支援助成金）	57万円
③生産性向上、最低賃金引き上げ（業務改善助成金）	70万円～
④人事評価制度整備導入（人事評価改善等助成金）	50万円

中でも

②雇用管理制度助成金（人材確保等支援助成金） ☞これにチャレンジ！

生活習慣病予防検診

胃がん検診 肺がん検診 子宮がん検診 乳がん検診
 大腸がん検診 歯周病疾患検診 骨粗鬆症健診



例えば、上記の予防検診から歯周病疾患検診（費用1人1万円程度、会社負担）を選択
 ※他の予防検診でも構いません

法定の健康診断とは別に、生活習慣病の予防のため、歯周病の検診を導入する制度を設ける（就業規則へ追加または新規作成）

- ・ 目標達成 → 社員が一定数辞めなければ57万円
 さらに営業利益が6%向上でプラス15万円！
 最大72万円受給